

# 要 望 書

下北半島における「国土強靱化」の推進について

青森県むつ市

青森県むつ市議会



## 【要 旨】

豪雨や地震などの大規模な自然災害の発生により、甚大な被害が生じるおそれのある下北半島において、必要なインフラ整備が着実に進められるためには、国土強靱化対策が不可欠であります。半島地域における国土強靱化対策の推進と拡充、半島地域特有の課題を解決し、地域の活性化と地方創生を実現するという観点から、以下の事項について強く要望します。

## 【要 望 事 項】

1. 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に必要な予算を確保するとともに、5か年加速化対策終了後も切れ目なく、継続的かつ安定的に国土強靱化の取組を進めるため、国土強靱化実施中期計画を令和6年内の早期に策定し、その実施に必要な予算を確保すること。

さらに、下北半島縦貫道路など広域的な道路ネットワークを着実かつ早期に整備することで道路網のサービスレベルを向上させ、物流運送業界の2024年問題に対応するべく物流の効率化を図ること。

2. 令和6年度末に期限を迎える半島振興法を延長するとともに、事業費の優先配分、国費率の嵩上げ及び採択要件の緩和はもとより、これまで実施されてきた交通網整備や産業振興施策に加え、地方創生の実現に向けた半島地域特有の課題解決のための取組を新たに支援の対象とするなど、半島地域基盤の充実・強化のた

め、支援制度の拡充を図ること。

3. 積雪寒冷地域の当地では、気温の変動による凍結・融解の繰り返し等により、道路舗装の凍上被害が多数発生している。住民生活に多大な支障をもたらすものであり、積雪寒冷地域における安全な道路ネットワークを維持するため、凍上被害対策について早急に措置を講じること。

### 【理由】

令和6年能登半島地震では、地形的な特徴を有する半島での災害により、道路や上下水道等ライフラインの寸断、津波による浸水被害、多くの孤立地区が発生するなど甚大な被害が発生しました。

下北半島も能登半島と同様、大規模災害時には、半島特有の深刻な問題が生じることが懸念されております。令和3年8月には下北半島で、豪雨災害により国道279号に架かる小赤川橋の崩落で幹線道路が寸断し、集落の孤立が発生しました。また、長期間の通行止めにより周辺住民の生活の復旧に遅れが生じ、地域経済や観光、物流等に大きな影響を及ぼしました。

地域高規格道路として期待されている下北半島縦貫道路は、平成7年の着工から30年弱経過した現在でも41.3%しか完成しておらず、下北地域から地域外の三次医療機関まで約3時間を要するなど、道路網の脆弱性が顕著になっております。

下北半島は、原子力関連施設や自衛隊施設等が立地する地域でもあり、国の安定的なエネルギー供給と安全・安心な社会の実現に欠か

せない役割を担っていると認識しております。住民の生命・財産・暮らしを守り、災害時における人流・物流の確保のためにも、国土強靱化対策が必要不可欠です。

また、継続的・安定的に活力に満ちた地域として発展していくためには、物流の安定的な運用が必須であり、そのための道路整備及び安全な道路ネットワークの維持は半島地域にとって重要な課題となっております。

住民が安全・安心に暮らせる下北半島の強靱化及び地方創生の実現に向け、格別の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年7月24日

むつ市長

山本知也

むつ市議会議長

富岡幸夫